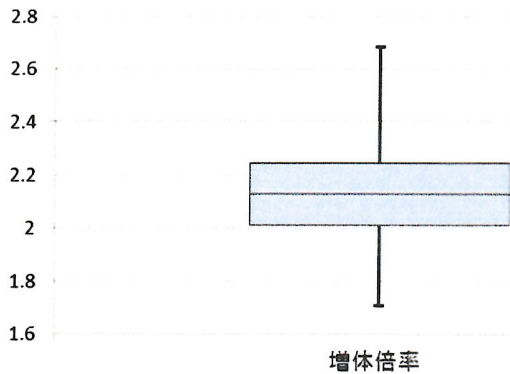


昨年からスタートしたトータルハードカーフサービス。まだ1年も経っていないのですが、3月現在までの子牛の発育成績を簡単にまとめてみました。



63日間での増体倍率

中央値 2.13倍

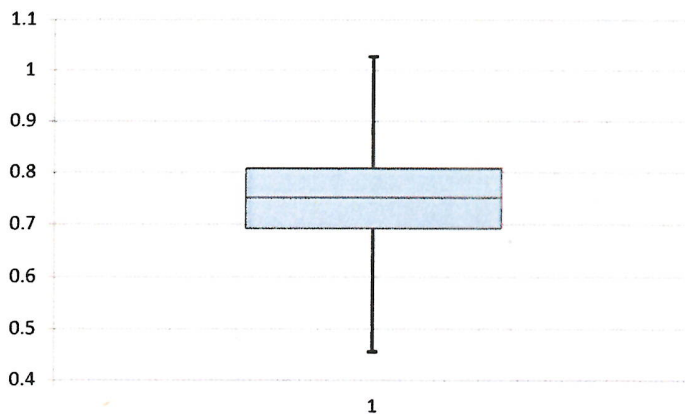
最大値 2.68倍

最小値 1.71倍

★世界的に推奨されている目標：「56日間(8週間)で出生時体重の2倍にする」

カーフサービスでは預託期間が63日(9週間)なので期間に若干の差がありますが、目標は達成できています。今後の目標は、最小値をもっと高くなるようにし、ばらつきを無くすことです。

最大で2.7倍にもなった子牛がいたのには驚きです！



日増体量(Daily Gain)

中央値 751g/日

最大値 1.03g/日

最小値 0.46g/日

★世界的に推奨されている目標：「哺乳期間の日増体量 750g」

小さく生まれた子牛と大きく生まれた子牛とでは、やはり大きく生まれた子牛の方が哺育期間中の日増体量は大きくなるので単に技術的な部分の成果ばかりではありませんが、目標は達成できています。それにしてもやはり下痢を長患いした子牛などは増体は非常に悪いですね(汗)。

<今後の目標>

- ①疾病のコントロール：(お恥ずかしい話ですが)獣医師が管理していてもやはり下痢や肺炎の発生はあります(涙)。早期発見と的確な治療には自信がありますが…やはり発生を最小にする取組みが課題です。
- ②冬場の成長を落とさない工夫：夏期と冬期とで比較するとやはり冬期で6~7%ほど成長が落ちていきます(目標は達成できていますが)。環境と栄養供給の改善が課題になります。